

Epistula

Oita Prefectural College of Arts and Culture

エピストゥラ ～古典ラテン語で“手紙”という意味です。

The 20th anniversary

平成24年度

人文系学科は
20周年を
迎えました!

美術・音楽・国文・情コミュ全4学科が行った
1年間の活動をお知らせします



[モデル]
国際文化学科1年
近藤 祐加さん

vol.29

『ベップ・アート・マンス2012』のイベント “ideal Fit”インスタレーション作品展



住居兼迎賓館として建てられた別府市「膳潮閣」において、本学美術科の学生4名が平面およびインスタレーション作品を展示しました。和と洋を併せ持つ近代日本の新しい時代との経過を体感させます。このリアルな体感には日本の独特な美的空間、作品と作品を取り巻く外的な要因との相互の関係、その存在意識を現代に「Fit」させた芸術表現の展覧会として企画。そこには新しい「ideal」を私達に感じさせる挑戦的な表現に学生たちが挑むことができました。また、本学他学科の機能を取り入れて、茶道部と美術陶芸専攻によるコラボレーション茶会、芸短弦楽アンサンブル演奏会、アーティスト・トークと芸文短大ならではの多彩な催しを実現し、美術関係者の訪問やメディアに取り上げられる結果を得ました。制作やデザインなどの構想から、パンフレット制作やFacebookなどを使った広報活動、開催期間の運営と学生たちも全力でこのイベントに力を注ぎ、多くの体験をすることができました。

美術科

Department of Art

左合ひとみさんをお招きして デザインスクールを開催

本学と日本グラフィックデザイナー協会大分地区（JAGD A-OITA）とのタイアップイベント「GEITAN ONE DAY SCHOOL」を開催しました。講師としてお招きしたのは、地産デザインを提唱し、パッケージや商品開発などを手がけているデザイナーの左合ひとみさん。第1部の講義では、「地域を輝かせるデザイン」をテーマに左合さんがプロデュースした商品事例を踏まえスライドと共に解説していただきました。第2部では、課題作品の審査・講評会を行いました。課題「食品などの「ユニケーションデザイン」プロダクトデザイン」観光・街づくりのデザイン」の3部門から学生が提案するデザインを出展し、ロビーにて展示。100点近くの作品の中から優秀作品10点を選出し、講評していただきました。優秀者の学生は記念品として左合さんが手がけられた書籍をサイン付きでいただきました。終了後は、講演会参加者で大分市美術館横レストランにて交流会を行いました。



第51回美術科 卒業・修了制作展

卒業・修了する学生たちがこれまでに学んだ成果と創作研究の集大成としての作品を対外的に発表するために毎年、卒業・修了制作展が開催されます。美術専攻（日本画・油画・ミクスメディア・彫刻・デザイン専攻）ビジュアルデザイン・生活造形デザイン（陶磁・テキスタイル・プロダクト）のそれぞれのコース毎に、学生たちの個性的な若さあふれる作品を会場に展示しました。また、造形専攻科の学生は個々の思いの詰まった独創的な作品を展示しました。この卒業・修了制作展は、多くの関係者及び専門家から高い評価を得ています。



地域ふれあいアート講座

美術科では、「地域ふれあいアート講座」を地域社会貢献活動の一環として平成17年から毎年行っています。子どもたちに創作の喜び、楽しさを味わってもらい、造形美術に対する興味や子どもたちの本来の感性を引き出すことを趣旨としています。今回は、中津市立真坂小学校の生徒1、2年生と本学美術専攻1年生とで、ハンドペインティングを体験するベタベタ大作戦を行いました。本学学生と子どもたちのふれあいは、双方にとって楽しい思い出となりました。



美術科の学生で構成するクリエイティブサークル「ideal」を発足

「ideal」は、芸術大学らしいクリエイティブな取組を学内外において、社会とのつながりを考えた制作活動を通してクリエイターとしての意識高い表現活動を展開します。大分市ガリレオ竹町にあるまちなか支局にて、小学生向けワークショップやセレクトショップとのタイアップでオリジナルブランド商品の販売、瀬戸内アートミューシウム視察の研修に取組みました。



「九州デザイン大学展」で宮原さんが優秀作品賞を受賞！

九州内でデザイン分野がある大学による卒業制作優秀作品を展示した「九州デザイン大学展2012」が開催されました。本学からは7作品を展示し、ビジュアルデザインコースの宮原莉紗さんの作品「こまろくそく」がみごと優秀作品賞3点のうちの1つに選ばれました。最終日は、出展学生によるプレゼンテーションも行いました。他大学の作品もアイデアや研究といった視点から沢山の刺激をいただきました。学生間の交流もできて有意義な展示会となりました。



大分県立芸術文化短期大学×オーハタパール「真珠商品デザイン開発」

プロダクトデザイン分野で学ぶ短大1年生が行った有限会社オーハタパールとの産学プロジェクト「真珠商品デザイン開発」で提案したデザインが商品化され、首都圏の百貨店で販売されました。「若者向け」がコンセプトです。

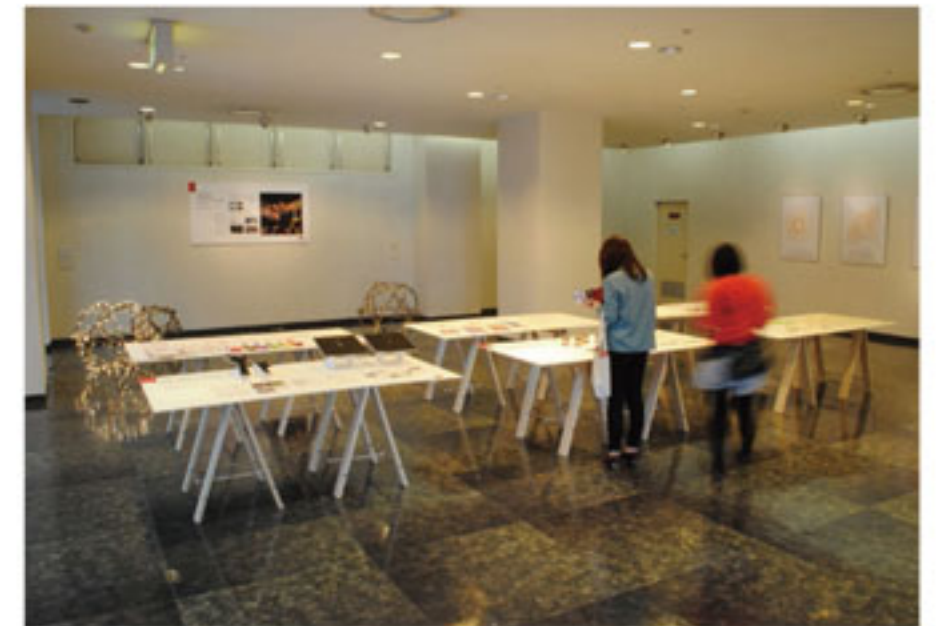


「国際アマチュア映像祭」のアニメ部門で亀元さんがグランプリを受賞！

日本、ロシア、韓国、モンゴルの4カ国から募集された作品の中で、部門ごとに1つずつ受賞作品が選ばれた「国際アマチュア映像祭」。自然・旅行部門、私の街・私の家族部門、ハプニング部門、アニメ部門、シネマ部門、総合グランプリがあり、その中のアニメ部門でビジュアルデザインコースの亀元希恵さんの作品がグランプリを受賞しました。このPosta Ponteは本人がずっと温めていた企画で当初からストーリーやキャラクターデザインはほぼ出来上がっていたようです。しかしながら、アニメーション作成は時間が相当かかったようで、作業は毎日深夜にまで及んだそうです。



福岡スカラ天神で開催された「福岡デザイン展」に、本学デザイン専攻の学生が出展しました。デザインを通して、そこに新しい価値を生み出す。それが大分の魅力をもっと広めることに繋がると考え、大分県内の企業や自治体と連携した商品開発や学生が企画した作品づくりなどを展開。また、新しくできる大分県立美術館のプランディング案などをパネルや現物で展示しました。



「第7回おおいた協働ものづくり展」に出展

大分市内で開催された「第7回おおいた協働ものづくり展」に、プロダクトデザイン分野の学生が作品を展示しました。短大2年生の前期課題作品を中心に、小物から大型家具をはじめ、地域の企業との商品開発を通してデザインを学ぶ「産学共創プロジェクト」での作品も展示、多くの方々に見ていただきました。25年度の「第8回」もおおいた協働ものづくり展にも出展予定です。



がんばる日本！心の灯り「竹ほたる」

デザイン専攻の学生が手がけた「竹ほたる」が範囲を拡張し、竹田市と大分市のイベント。がんばる日本！心の灯り竹ほたる。として開催されました。やわらかな光を放つ球体が竹田市の城下町商店街一円と稲葉川河畔を幻想的に包み込みました。点灯式では本学音楽科による演奏や人文系学科によるボランティアも参加、大学をあげてこのイベントを盛り上げました。



実技模擬試験を開催

高校生・社会人を対象に実技模擬試験を開催しました。この模擬試験は、各専攻ごとに基礎コースと受験体験コースに分かれて実施しましたが、今回は受験コースの生徒さんが多く、入試さながらの時間と試験問題に緊張した面持ちで真剣に取り組んでいました。最後に作品講評を行い、個々の質問と各自のこれからの課題等を話しました。これからもう一回この機会を設けたいと考えています。



芸短デッサン室

古典的な理想美を追求した有名な彫刻を複製した石膏像は、均整のとれた造形物として形態の美しさを学ぶには最適なモチーフの一つと言えます。本学ではデッサン室として多くの石膏像を一堂に集めて、大型の全身像をゆとりのある空間に配置しました。また、移動式の台に置かれた像もあり、学生が自由に描きたい場所に移動してデッサンできるよう配慮されています。



「第2回美術作品展」

今回の交流展は「知」を共通テーマとし、各大学で応募があった作品の中から30点ずつを優秀作品として選抜し、本学は作品展示、中国側はパネル展示という形で展示しました。学術交流や学生交流はもとより、地域の方々にも本学についてよく知ってもらう機会となりました。2013年4月に「和」を共通テーマとして、第3回美術作品展を開催します。





大舞台から小学校・小さな
お祭り会場まで、さまざまな
場面で演奏を行いました。

Concert

～演奏会～



平成24年10月8日、iichiko総合文化センターiichikoグラウンシアタにおいて音楽科「第48定期演奏会」を行いました。本学定期演奏会は、演奏を担当する学生だけでなく、曲目解説、当日のスタッフ等音楽科学生・教職員全員が一丸となつて作り上げていく演奏会です。オーケストラは総勢98名（在学生69名、卒業生ほか29名）の大分県立芸術文化短期大学管弦楽団、合唱団は合唱授業を選挙している学生124名、指揮は森口真司准教授、曲目解説は専攻科理論コースの学生2名と小川伊作教授が担当しました。

第1部はオーケストラと合唱合同でマスカー「作曲オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」から合唱曲を抜粋して演奏しました。愉快な酒盛りのシーンではオーケストラで選ばれた専攻科2年生重富紗也子さんのソロ、感動的な教会のシーンでは短大2年生齊藤美友子さんのソロとオルガンパート（電子楽器使用）も加わりたいへん盛り上がりしました。

第2部は成績優秀なピアノコース学生6名を独奏者に迎えブルッフおよびブラームの作曲「2台のピアノの協奏曲」を演奏しました。選ばれた学生は専攻科2年生隈本早悠里さん短大2年生姫野華奈さん（ブルッフ）、2楽章、短大2年生吉元優喜乃さん竹内香穂さん（ブルッフ3・4楽章）、専攻科2年生時田有美さん短大2年生蒲原光さん（ブラーム）で、それぞれ持てる力を十二分に発揮して難曲を見事に弾ききりました。

第3部はオーケストラのみによるステージでレスピーギ作曲「ローマの松」を演奏しました。通常のオーケストラで使用する楽器以外にピアノ、チェンスタ、別編成の金管楽器群、鳥の鳴き声の録音などを使用するきわめて巨大な編成によるとても華やかな曲です。2階客席に配置された別動隊の金管楽器群が咆哮し客席を圧倒しました。最後はアンコールに「カヴァレリア・ルスティカーナ」の間奏曲を演奏して静かな余韻のうちに2時間を超える演奏会を締めくくりました。

2台ピアノのコンチェルト2曲をイタリアの巨匠による作品で挟みこむという意欲的かつ変化に富んだプログラムでしたが、裏方の学生さんたちの迅速な動きで舞台転換も滞りなく進み、来場された聴衆の皆さまにも飽きることなく学生達の熱のこもった演奏を楽しんでいただけました。

【学生たちの声】
●カヴァレリア・ルスティカーナ
◎尊敬する先輩や同級と歌えた事がとても良い思い出になりました。（音楽コース）
◎ソロばかりにとらわれていた私の音楽表現の中に団体でなれる音楽の力というものを改めて感じる事ができました。（管弦打コース）
◎男性パートは人数があまり



地域巡回演奏会

毎年恒例の地域巡回演奏会を平成24年度も9月に行いました。学生・教員・スタッフ合わせて総勢61名で12日に豊後高田市田染小学校、13日に日田市東漢小学校を訪問しました。今回はピアノ独奏、オペラハイト、合唱による多彩なステージが繰り広げられ、普段は生の演奏に接する機会の少ない子供達に様々なジャンルの音楽を楽しんでもらいました。プログラムの最後をしめくつたのは短大1年生による女声合唱（指揮は指揮コース1年宮腰花秀）で、1年生にとつては初の舞台となりました。

各コースの専門教員によるレッスン・授業をはじめ、著名な音楽家による公開レッスンや自身の練習の成果を発表する場を経験することで、実力と自信が身に付きました！

Lesson 音楽科

～授業関連～



期待に胸を膨らませた
オリエンテーション

満開の桜がキャンパス内を彩る頃、入学したばかりの新入生たちに最初に行うのがオリエンテーションです。学科の説明や教員紹介、授業の取り方についてなど、これから始まる学生生活について、さまざまなレクチャーを行いました。丁寧に分かりやすく、個別指導も行っているのが初めての事で緊張感いっぱいながらも、これからガンバルぞ！という意気込みが伝わるような凛とした表情で、みなさん熱心に指導を受けていました。

音楽科のカリキュラムに含まれる特講は、音楽ピアノ・管弦打があります。

平成24年度は、音楽に瀬山眞寿子先生、ピアノに辛島輝治先生、管弦打は本学准教授森口真司先生による特講が行われました。

見られることで成長する公開研究発表

公開研究発表は、専攻科の科目で公開のステージ上で演奏することにより、実地経験を積むことを目的としています。IとIIがあり、Iは専攻科1年生作曲コースに在籍している学生の作品発表会を行いました。1年生は自主的な発表ですが、2年生は「学内演奏」、専攻科1年生は研究発表I、2年生は研究発表IIの審査を兼ねています。みなさん、舞台上で日頃の練習の成果を思いっきり発揮していました。

作曲コース作品発表を行いました！

音楽専攻の音楽ピアノ・管弦打各コースの卒業・修了生の中から選抜された成績優秀者が出演しています。

卒業演奏会・修了演奏会を開催しました

音楽科の集大成ともいえるイベントが「卒業演奏会・修了演奏会」です。平成24年度は3月20日と21日に開催しました。両演奏会とも、二次（音楽科、

客員教授音楽公開レッスンと
特別講師による管弦打レッスン

数多くの世界的名演奏家達と共演をし、最も経験豊かな音楽家の一人と称されている小林道夫客員教授と、「第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール音楽部門」で日本人初の第1位を受賞した佐藤美枝子客員教授による公開レッスンを行いました。

また、管弦打コースでは、特別講師NHK交響楽団のヴィオラ・小野富士氏フルート・甲斐雅之氏によるレッスンも行われました。著名な音楽家による指導に、レッスン生たちは緊張しながらも、すべてを吸収しようとする懸命でした。



探求心あふれる理論コース研究発表

短大の卒業研究発表と専攻科の修了研究発表を2日間に分けて行いました。パワーポイントやピアノを使い、各人が探求したテーマについて発表、どれも興味深い内容となっていました。

新人演奏会出演が決まりました！

新卒・新修了者で大学推薦を受けた学生たちが、左記演奏会に出演が決まりました。
●読売新人演奏会
池邊秀紀（声）専攻科2年
坂口美奈（P）専攻科2年
●アルゲリッチ音楽祭
齊藤美友子（声）短大2年
上村 梨世（打）短大2年
●ピアノ調律師協会主催
新人演奏会
吉元優喜乃（P）短大2年

ローマの松

●また明日から頑張ろうという気持ちになりました。（音楽コース）
●オーケストラの曲に出会って音楽の世界観が大幅に変わり、オーケストラの魅力に気づくことが出来ました。（ピアノコース）
●聴いたことはあっても演奏したことのない曲を演奏できたことは実に楽しく有意義でした。（理論コース）
●オーケストラの練習をして疲れて帰っても充実感でいっぱいでした。（管弦打コース）
●2階でバンドの演奏を見下ろせて新鮮な気持ちでした。（管弦打コース）

子どもたちや地域の方々と
の触れ合いを大切に！
活動も行ってきました！

Community Service

～地域貢献～

「芸短フェスタ2012」で、
近代和風建築「膳湖閣」を利用
して平面およびインスタレーシ
ョン作品を展示した本学 美術
科によるイベント「idea ear
Fit」で、音楽科の学生6人
による弦楽アンサンブル演奏会
を行いました。趣あふれる空間
の中に美しい音色が響き渡り、
多くの方々を傾けていま
した。



芸短 弦楽アンサンブル演奏会

「愛甲久美メゾソプラノリサイタル」を 開催しました

9月26日(水)、iichiko
総合文化センター 音の泉ホ
ールで愛甲久美准教授がリサ
イタルを開催しました。共演者
に歌曲の本学客員教授でもあ
る小林道夫氏を迎え、バッハ
からロマン派に至るドイツ芸術歌

曲の世界を披露しました。フ
ログラム「マタイ受難曲より
「憐れみたまえ」/J.S. バッハ、
「ヴェーゼンドンク歌曲集」/
ワーグナー、万葉節、R. シュ
トラウス 他



上野の森 アートフェスティバル

本学が立地する地
元上野丘で毎年11月
に開催されるイベン
トで、今回で13回目
を迎えました。音楽科
では毎年出前演奏を
行っており、平成24年度
は金管アンサンブルと
弦楽アンサンブルが
出演しました。

オペラ「魔笛」に 本学教員陣と 学生らが出演！

11月23日(金)祝、大分県文
化スポーツ振興財団主催のオペ
ラ「魔笛」(iichikoグ
ラシア)に、本学森口真司准教
授(指揮)、川瀬麻由美教授(コン
サートミストレス)、愛甲久美准
教授ほか多くの本学 在学生及
び卒業生が出演しました。

ドニゼッティ歌劇「愛の妙薬」を公演しました！

オペラサークル「Opera
Pienadi Vita」によ
る公演歌劇「愛の妙薬」(ガエ
タノ・ドニゼッティ)を本学
小ホールで開催しました。村
一番の美人でお金持ちのアデー
ナと、人柄がいいことだけが取
り柄の貧乏な青年ネモリーノ
の恋模様を繰り広げました。終
演後、場内は大きな拍手に包ま
れていました。



公開講座・ 夏期講習会

音楽科では、毎年高校生・一般
県民に向けた公開講座や講習会
を開催しています。平成24年度
は、左記の講座を実施しました。
【吹奏楽 指揮】6月20日「20
12年度全日本吹奏楽コンク
ール課題曲指揮法及び指導法」
【理論作曲】6月10日～7月6
日の間各コース4回、12月2日、
9日、16日「一般県民・高校生の
為の理論・作曲を学ぼう」
【理論作曲】6月10日～7月6
日の間各コース4回、12月2日、
9日、16日「一般県民・高校生の
為の理論・作曲を学ぼう」
出前指導・ご要望に応じて、本
学教員が出向き音楽の指導を
行っています。平成24年度は、11
月2日、県立盲学校に本学 愛
甲久美准教授が出向き、合唱指
導を行いました。

コンサートシリーズ No.65

管弦打コース演奏会

～師走に心温まるひとときを～

12月15日(土)、iichiko総合文化センター 音の泉ホール
で「管弦打コース演奏会～師走に心温まるひとときを～」を開
催しました。このコンサートは、本学 音楽科管弦打コースの在
学生と教員が同じステージにたち、リラックスした雰囲気でも
曲の数々を披露するアットホームなコンサートで、普段とは違
ったステージに多くの方々からご好評いただいています。

【オーケストラ演奏】●くるみ割り人形/チャイコフスキー●クリスマス フェ
スティバル/アンダーソン

【アンサンブル】●打楽器アンサンブル●トロンボーン四重奏●フルート八
重奏●ヴァイオリン合奏●弦楽六重奏●混合合奏●金管八重奏●クラリネ
ット十二重奏



コンサートシリーズ No.66

声楽コース演奏会

～声(うた)の響宴～

2月8日(金)、iichiko総合文化センター 音の泉ホールで「声
楽コース演奏会～声(うた)の響宴～」を開催しました。「声(う
た)の響宴」と銘打ったこのコンサートでは、本学 音楽科声楽コ
ース在学生の日頃の研鑽の成果をオペラハイライト・独唱・合唱
で披露しました。オペラハイライトでは、モーツァルト作曲の「フィ
ガロの結婚」を原語日本語字幕つきで公演、視覚的にも楽しんで
頂けるよう工夫を凝らしたステージ演出を繰り広げました。

【第1部 合唱】●混声合唱曲集「地平線のかなたへ」より「春に」/木下牧子
作曲・谷川俊太郎 作詞●混声合唱曲集「光と風をつれて」より「はじまり」/
木下牧子 作曲・工藤直子 作詞●混声合唱曲集「旅のかなたに」より「歌」/
信長貴富 作曲・谷川俊太郎 作詞●混声合唱曲集「旅のかなたに」より「旅の
かなたに」/信長貴富 作曲・室生犀星 作詞

【後期実技試験成績優秀者による独唱】●すみれ/モーツァルト●アルプス
の羊飼いの娘/ロッシーニ●漁夫は歌う/トスティ●ミニョンの歌/シュー
ベルト●花の便り/シューベルト●マリア様/メルカダント●あなたがそば
に居たら/シュテルツェン ●くちづけ/アルディーティ●私の愛の日々/ド
ナウディ●歌劇「ロアン家のマリア」より「憐れむ神よ」/ドニゼッティ

【第2部 オペラハイライト】●フィガロの結婚/モーツァルト



コンサートシリーズ No.63

若さあふれるコンサート

9月17日(月・祝)、iichiko総合文化センター 音の泉ホー
ルで「若さあふれるコンサート」を開催しました。この演奏会は、
前期実技試験の成績優秀者によるコンサートとなっており、選
ばれた学生たちは日頃の研究成果を十分に発揮しました。



【声 楽】●もはや私の心には感じない/バイゼッロ●夢/スキーラ●陽
はすでにガンジス川から/スカルラッティ●アヴェ・マリア/ルツィ●桐の
花/中田 喜直●歌劇「清教徒」より「あなたの優しい声が」/ペリーニ
●ひぐらし/團 伊玖磨●歌劇「夢遊病の女」より「気も晴ればれと」/ペ
リーニ●はる/團 伊玖磨●「音楽の夜会」より「アルプスの羊飼いの娘」/
ロッシーニ●歌劇「ジャンニ・スキッキ」より「私のお父さん」/プッチーニ

【ピアノ】●平均律クラヴィア曲集 第2巻より 第7番 変ホ長調 BWV876
/J.S. バッハ●12の練習曲集 作品10より 第8番/ショパン●平均律クラ
ヴィア曲集 第1巻より 第4番 嬰ハ短調 BWV849/J.S. バッハ●12の練
習曲集 作品25より 第8番/ショパン●創作主題による変奏曲 二長調
Op.21-1/ブラームス●ハンガリー狂詩曲 S.244より 第12番 嬰ハ短
調/リスト●6つの描写より 第1曲 インプロヴィザシオン、第5曲 コラ
ール、第6曲 サスーンの踊り/バビャニアン

【管弦打】●アルデーナンス/カストレド●コンチェルティーノ/シャミナ
ーデ●序奏とロンド/ウィドル●クラリネットとピアノのためのソナタより
第2、3楽章/ブーランク●トランペットとピアノのためのソナタより 第2、3
楽章/ピルス●ハバナ/サン＝サーンス

コンサートシリーズ No.64

ピアノコース演奏会

～ピアノ音楽への誘い～

11月14日(水)、iichiko総合文化センター 音の泉ホール
で「第3回ピアノコース演奏会～ピアノ音楽への誘い～」を開
催しました。独奏・連弾・2台ピアノによる4手など、バラエティ
に富んだプログラムで「ピアノ音楽の魅力」を披露しました。

【第1部 ピアノソロとピアノ連弾】●3つの演奏会用練習曲より 第3番「た
め息」/リスト●2つの演奏会用練習曲より 第1番「森のささやき」/リス
ト●ピアノ・ソナタ 第2番 作品35 変ロ短調より 第1楽章/ショパン●ピ
アノ・ソナタ 第3番 作品46 へ長調より 第3楽章/カバレフスキー●「序
奏とアレグロ」/J. M. ダマーズ●4手のためのピアノ・ソナタ/ブーランク
●4手のための組曲「くるみ割り人形」作品71aより「花のワルツ」/チャ
イコフスキー

【第2部 2台ピアノアンサンブル】●2台のピアノによる「牧神の午後への前
奏曲」/ドビュッシー●2台ピアノ版による交響詩「死の舞踏」作品40/サ
ンサーンス●「ウェスト・サイド・ストーリー」より2台ピアノによる「シンフォ
ニック・ダンス」/バーンスタイン



芸短音楽科コンサートシリーズ

1回の舞台経験は100回の練習に勝る！をモットーに、本格的なステージで演奏を行っています！

国際文化学科 活動報告!

国際文化学科では、日々の授業ではもちろん、キャンパスを飛び出してさまざまなイベントやボランティア活動に積極的に参加してきました! 平成24年度の活気あふれる“コクブンPower”を、学生たちの“生の声”でお伝えします。

第32回大分国際車いすマラソン大会で 通訳ボランティアに参加



私は、「第32回大分国際車いすマラソン大会」で海外選手の通訳ボランティアとして、通訳ボランティア会Candoのみなさんと一緒に活動しました。私がこの活動を知ったのは国際ボランティア論という講義で紹介されていたからです。はじめは、外国人と触れ合える大チャンスと軽く思っていました。しかし、ボランティアとして活動する事になって沢山の研修を受ける中で感じた事は、外国人とのただの触れ合いではない

ということでした。本番当日、私は一人の海外選手の通訳やサポートのために、スタートするまで彼の傍にいました。しかし、あまり話ができず自分の名前すら伝えることができないままレースがスタートしました。初めて見る車いすマラソン。本場にすこいスピードで選手たちがスタートして行きました。彼がゴールして、休憩所に向かうつくる時に私を見つけて安心した様な笑顔を

とって一番印象深い出来事でも嬉しかったです。私はこの活動を通して、色々な経験をし、色々なことを学びました。国や言葉が違っても通じ合うことはできるし、外国人であっても特別なわけではなく、同じ人間同士の関係なんだと実感しました。そして、もともと自分のことを伝えるために相手のことを知るために語学力を

国際文化学科1年 出口英

イギリス語学実習学生レポート

最初は、すべて英語で授業を受けるという環境に慣れなくて戸惑いました。しかし、先生もわかりやすい英語で話してくれたし、授業を受けるうちに耳が慣れ、理解できるようになりました。また、グループ活動が多く、様々な国籍の人がいるグローバルな環境で楽しく授業を受けることができました。週に回バス旅行があり、近くの村やロンドン、ケンブリッジなどに行き、英語だけでなくイギリスの文化も学ぶことができ、楽しかったです。ライオンキングのミュージカルシア

ターにも連れて行ってもらいました。生の英語での迫力のある演技、歌とダンスにとっても感動しました。このイギリスでの語学実習は私にとって、とても充実した1ヶ月間でした。

国際文化学科1年
小林綾香

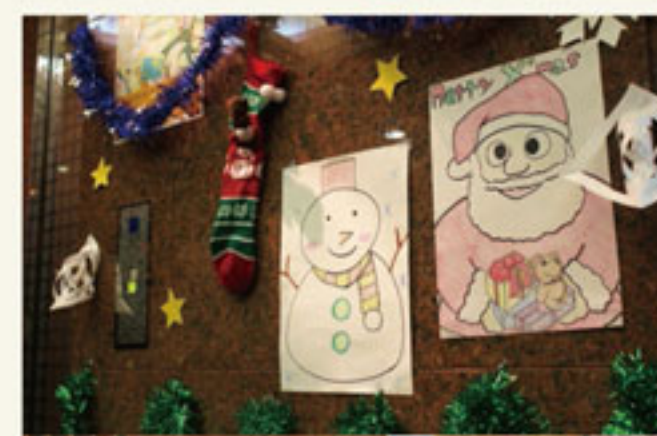


国際ハロウィン交流会& 国際クリスマス会を開催しました!

10月31日に、料理持ち寄りの「国際ハロウィン交流会」を開催、学内外から総勢65人以上の方が参加しました。可愛い幼稚園児を始め、魔女や猫の仮装した学生たち、社会人や外国人...と様々な参加者がおり、盛り上がった雰囲気の中で触れ合える貴重な機会でした。

ハロウィンやクリスマスをきっかけに、外国語と外国の文化を学び、世界に深い興味を持つ皆さんが、楽しく交流を深める機会になりました。

国際交流員
アンブル・テスエ



ハワイ・沖縄の文化人類学研究のフィールドワーク

「ハワイ・沖縄の文化人類学研究」の卒業研究ゼミでは、9月14日と15日、福岡でフィールドワークを実施しました。ハワイアンのお店や沖縄産物の店を訪れ、「アジア太平洋フェスティバル福岡」ではカンボジアの古典舞踊や、韓国フィリピンダンスや料理、ハワイのフラなどを楽しみました。ゼミ生たちにとっては、五感をフルに活用した2日間となりました!



「グローバル多文化体験学習団」の 韓国・小中学生と交流

8月10日に、本学の竹田キャンパスで「グローバル多文化体験学習団」として来県中の韓国・全羅南道谷城郡の子供たち39名と国際文化学科の学生

8人が交流しました。本学の非常勤講師でもある前田亮二先生の指導のもと、染め物体験をしたり、パーベキューパーティーや日本の遊びを体験しました。また、韓国の子供たちには、日本と聞いて思い浮かぶもの、日本の学生たちには、韓国と聞いて思い浮かぶものについて絵を描いてもらい、何人かに発表してもらいました。短い時間でしたが、素晴らしい交流会となりました。



韓国語学実習 学生リポート

国際文化学科1年
川野祥子

8月20日(9月9日の3週間、韓国にある高麗大学へ語学研修に行ってきた。毎日授業が終わったら、ショッピングをしたり、カフェで友人とその日の復習をしたり、トウミ(buddy)の学生と市内観光をしました。週末にはロッテワールドに行ったり、日韓短編映画交流で仲良くなったソウル芸術大学の学生たちにも会いに行きました。



国際文化学科の学生がインカレに出場

国際文化学科2年の堀貴詞君がライフル射撃の九州代表としてインカレに出場しました。大会は10月11日に長瀬射撃場(埼玉県秩父郡長瀬町)で開催され、堀君は10mエアライフル立射60発の試合に出場し、健闘しましたが、惜しくもファイナル進出はなりません。堀君は「卒業後もライフルを続け、国体出場を目指します」と語ってくれました。



香港・中文大学の学生と 交流合宿キャンプを行いました

ジュリー・ノートバー先生の卒研ゼミ生と教養ゼミ生(合計18名)が、8月6日(8日、豊後大野市にある大飼町リパークで香港・中文大学の学生と2泊3日の交流合宿キャンプを行いました。この交流合宿キャンプの主催者である大飼町わかあゆ国際交流会では、15年前から香港・中文大学のホームステイを受け入れ、2週間の日程で日本の田舎暮らしや伝統文化体験などを行っています。フリスビーやトランプなどで遊んだり、一緒にカレーライスを作るなど、お互いの学生がすぐに仲よくなり、2日目の夕方には、大飼町わかあゆ国際交流会15周年式典にも参加し、会場設営のお手伝いや式典のあいさつなどもさせて頂きました。3日目にはお別れしましたが、香港の学生が十分に滞在中、また一緒に遊びに行く約束をしました。



竹田合宿と耶馬溪の 災害ボランティア参加

7月21日と22日の2日間、恒例の竹田合宿が行われました。今回は、上野ゼミと永田ゼミと野坂ゼミの1、2年生総勢40名ほどが参加。キャンパスの掃除をした後、長湯温泉に入り、バーベキューやきもちめしを楽しみました。

翌日は、ゼミ毎に分かれて研修。野坂ゼミでは、学生が簡単な模擬授業をしました。永田ゼミは「物語を作る」という内容。その後、野坂ゼミの学生を中心に学生12名が集中豪雨の被害に遭った中津市耶馬溪へ向かい、災害ボランティアに参加しました。およそ2時間、被災した民家で土砂の運び出しを手伝いました。非常に暑い日でしたが、作業となりましたが、被害の凄まじさを目の当たりにし、現場の緊張感に触れた貴重な経験となりました。



夏休み実施のインターンシップに多くの学生が参加

私は2週間、大分市役所にインターンシップに行かせてもらいました。私の行かせてもらった福祉保健部では、1日に1課をまわるという形でインターンシップをやらせていただきました。課ごとに仕

事内容がとも様々だったので忙しくもありましたが、新鮮で充実した毎日でした。地図を見ながら病院の位置の地図を作成したり、健康診断1人親家庭の申告、食育推進の会議などいろいろな所に同

行させていただいたり、動物管理所、大分市社会福祉協議会、保健所、消防署といった施設へ行き、そちらのお話も聞かせていただくことができ、この2週間で私はとても多くの人々と関わることが出

来ました。私はこのインターンシップに参加して良かったです。市役所で働きたいという気持ちが増したインターンシップでした。

国際文化学科1年 渡邊美希

国際文化学科1年に「ミス別府」！

2011〜12年度の「ミス別府」を務めた、国際文化学科1年の近藤祐加さんにインタビューしました！

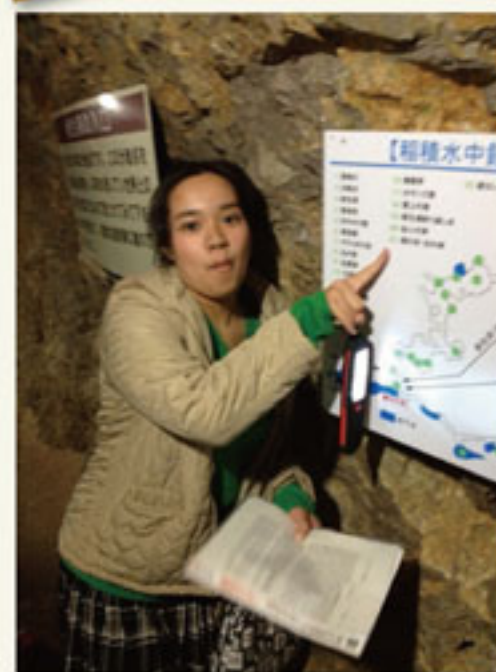
●Q ミス別府として、別府のどこいうところを宣伝したいですか。
●A 湯けむり、温泉の楽しさ、自然を宣伝したいです。
●Q 別府の観光名所のトップ3を教えてください。
●A 地獄、地獄蒸し工房鉄輪、竹細工伝統産業会館だと思います。
●Q 個人的に、別府のどこが好きですか。
●A 鉄輪が好きです！鉄輪は小さい頃住んでいたという

のもありますが、情緒溢れる街並みが気に入っています。
●Q 短大では、何を勉強したいですか。勉強以外に、何をやりたいですか。
●A 特に外国語に力を入れて、勉強したいです。勉強以外では市や観光、情報発信に関わることに積極的に参加したいです。
●Q 将来の夢を教えてください。
●A 将来の夢はまだ決まっていませんが、ミス別府を通じ



て培った経験を活かせると思います。
●ありがとうございました！

(前列右から2番目)
←今回の表紙にも登場してもらいました！



フェアトレードショップ出店！



10月20日の芸術祭で、国際文化学科の学生がフェアトレードショップを出店しました。扱った商品は、シャンティ国際ボランティア会(SVA)のフェアトレード商品です。SVAは、主に東南アジアの少数民族の文化教育支援をしているNGO団体で、販売した商品は東南アジアの人々が制作した手工芸品です。



また、学内でフェアトレードについて考えるワークショップとパネルトークも行われました。SVA大分代表の甲斐之彦さんもパネリストの一人として登壇し、SVAのフェアトレード活動であるクラフトエイドについて解説してくれました。

ジュリー・ノートバー先生の「ビジネス英語(中級)」の実習で、12月1日に豊後大野市三重町にある稲積水中鍾乳洞と竹田市の岡城址に行ってきました。授業では、私たち2人は観光ビジネスを学んでおり、その一環で実際に観光ガイドを体験しようとの企画でした。

鍾乳洞と岡城址の案内という役割を先生に設定されます。それぞれスポットについて調べて、案内文を作りました。調べている間は、その場所に行ったことがなかったため、なかなかイメージがつかめず苦労しましたが、実際にガイドを始めると楽しく案内することができました。

国際文化学科2年
山本愛さん&呉静凡さん

「ビジネス英語(中級)」で 実習を行いました！

した。英語でうまく案内できたときはすごく嬉しくなり、スムーズにできなかったときは悔しく思い、もっと勉強が必要だと思えました。ノートバー先生から質問をされて、英語で答えるのが大変でした。

これからも、英語を書くだけでなく、実際に話す練習に力を入れたことが重要だと痛感しました。また、勉強だけではなく、生で英語を使う機会を増やしてこれからの人生を充実するために頑張っていきたいと思いました。

20年の歴史を積み重ねて、私たちは今…

平成24年10月20日(土) 18:30からレンブラントホテル大分で、コミュニケーション学科・情報コミュニケーション学科(平成15年改称) 20周年記念同窓会を開催しました。

第1期から第18期生まで50名の卒業生が出席しました。手作りの大くす玉と垂れ幕で開幕、開設当時の学外研修や地域活動などの学科紹介DVD、ミュージカルDVDが流れ、教職員や卒業生からのコメントや近況報告が行われました。

参加したみなさんは、全員背に返って当時の思い出話に花を咲かせました。今回を期に同窓会生活活動を活性化させたいと思います。

平成21年度から23年度の3年間、情報コミュニケーション学科を中心に全学を対象とした『体験をスキルに変えるナラティブ能力育成サービスラーニングを中心とした自己の物語を探し創り発信する能力の形成プログラム』(以下、「ナラティブ能力プログラム」とします)が、大学教育推進プログラムに選定され、文部科学省による財政的支援をもとで、取り組みの充実と情報発信を行いました。平成23年度で文部科学省の支援は終わりましたが、引き続きこの取組は大学独自のプログラムとして実施しています。



創立20周年記念同窓会



津和野長期インターンシップ学生を招いて「竹田芸文短大フェイスブック情報発信フォーラム」を実施しました。

竹田は水害を受け豊肥線の不通や57号線の規制など厳しい状況です。また水害報道で客足も減っています。そこで元気な竹田を情報発信しようと、9月29日(土)、若者の情報発信力を竹田のまちおこしに役立てようという「竹田芸文短大フェイスブック情報発信フォーラム」を実施しました。

フェイスブックの作法や使い方の説明を行い、商店街の取材に出発しました。特色ある商店を取材し、直接スマートフォンなどでフェイスブックを使って情報発信したり、デジカメで撮影したのち、パソコンから編集して発信しました。

このときのフェイスブックなどの記事をもとに、大学に帰ってホームページ「たけたみつた」に掲載しました。

<http://cis.oita-pjc.ac.jp/taketa/index.html>

この日は島根県の津和野役場で1年間長期インターンシップに取り組み、津和野高校の学生確保などのまちおこしに取り組んでいる福井健さんと呼び、津和野の状況やまちおこしなどの話を聞きました。フェイスブックを使って、他の大学の学生にも参加を呼びかけ、APUアジア太平洋大学から5名、下関市立大学から1名の学生が参加し、本学の19名の学生と、交流と情報発信を行いました。“フォーラム”とは古代ローマの広場で市民たちがいろいろな問題について討論した場のこと。今回の取り組みは、お互いに情報を発信し交流する刺激的な一日になったのではないかと思います。

制作・更新中のホームページのコンセプトは、竹田市のみなさんの「当たり前」は私達には「初めて」。私たちが“発見”し“発信”していくことです。

今後は、ホームページのデザインも本学美術科の松本先生と西口先生の指導の元、美術科学生たちと一緒に少しずつ改良していきます。

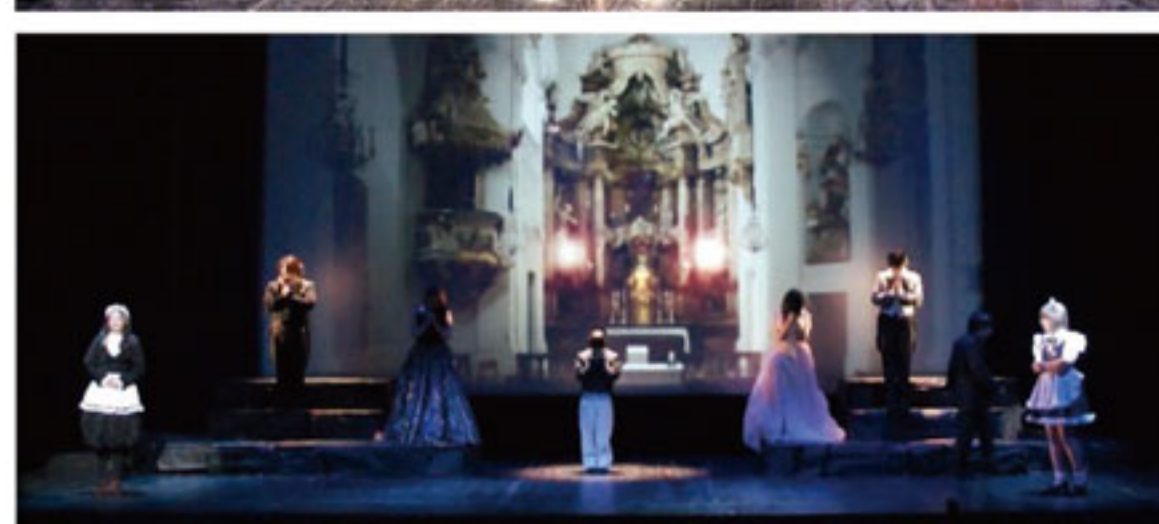
情報コミュニケーション学科は2012年創立20周年を迎えました

12月19日(水) 18:30から大分市iichiko音の泉ホールで、創作音楽劇「未完成 ～シューベルトの生涯～」を他学科と協力して上演しました。31歳でその短い生涯を閉じた天才作曲家の愛と苦悩の人生を生演奏を交えながら2時間にまとめ、多くの観客から、高い評価をいただきました。

本作は、「嵐が丘」「ロミオとジュリエット」「アマデウス」「ラファエロ」「浪漫の曳航～ショパン・サンド・ドラクロワ～」に続く第6作として、芸術系と人文系の学科を併せ持つ本学の特徴を活かし、演じる側も観客も改めて偉人の生涯を知ること、目的に制作、それぞれの学科の学生に専攻科生、卒業生、教員の協力も得て、完成したものです。

大道具や衣装の制作、舞台裏での連絡等を通じて、学科を越えた交流も深まり、全員の熱意が観客にも伝わったようです。共通教育の講義として実施されているこのプロジェクトは、一人ひとりの努力の成果が観客の反応としてダイレクトに返ってきます。100名以上の人たちが、一つの作品を作り上げる喜びが実感できるものとして、来年度は、大分が生んだ大作曲家滝廉太郎の生涯に挑戦、より多くの観客を集められるよう努力します。

創作音楽劇
「未完成 ～シューベルトの生涯～」



11月4日に大分市ガレリア竹町で開かれた「まちなか こども職業体験 おおいだ わくわくワークランド」にボランティアスタッフとして参加。未来を担うこどもたちに夢を与えるプロジェクトに参加して、自分たちの夢も広げることができました。



新たな未来へ、更に大きく羽ばたきます！



- Q19 ☐ 4月に別府で開かれた環境が
かかえる問題を提起したのは？
① ペイティ ② アースティ
③ 環境ティ ④ 緑化ティ
- Q18 ☐ 皆で植樹したのはどこ？
① 由布院 ② 天瀬
③ 竹田 ④ 別府
- Q17 ☐ 毎年五月に開かれる竹田市の
イベント名は何子ども祭り？
① 竹田 ② 岡藩
③ 竹宵 ④ 豊後
- Q16 ☐ 写真を撮って、紹介したのは？
① 姫島 ② 大島
③ 佃島 ④ 保戸島

- Q30 ☐ 内戦・HIV・貧困などで親を失った
子どもたちを支援するプロジェクトは？
① めじろん ② ワット
③ 国際平和 ④ セイブ・ザ・ワールド
- Q28 ☐ 夏の実践力アップ講座は？
① パソコン ② ワード
③ エクセル ④ 恋愛
- Q27 ☐ 大分市街地を巡ったのは？
① まちなか探検 ② 意外体感
③ あるある探検 ④ 発見探検
- Q26 ☐ 自己PRの練習をした
発表会は？
① インタースhip ② 体験
③ ポートフォリオ ④ アルバイト
- Q25 ☐ 31台のカメラで
収録したのは？
① 創作劇 ② 車いすマラソン
③ 定演 ④ 芸短祭
- Q24 ☐ 毎年恒例府内学生
何フェスタ？
① eco ② demo
③ coco ④ raku
- Q23 ☐ 日本で一番古い地方映画祭？
① 夕張 ② 東京国際
③ 湯布院 ④ 横浜
- Q22 ☐ 穂田子どもルームで
皆で直したのは？
① パソコン ② おもちゃ
③ 古着 ④ 家電製品
- Q21 ☐ 府内五番街からの動画発信を
ネットで実施しているのは何TV？
① ファイフス ② 芸短
③ ウィークリー ④ 十三夜
- Q20 ☐ 二人一組で実施する心理学の
名物講義は何ウォーク？
① 健康 ② 別大
③ ブラインド ④ 手繋ぎ
- Q19 ☐ 街頭で
募金活動を行ったのは？
① 赤い羽根 ② 緑の羽根
③ あしなが学生 ④ 東日本復興支援
- Q18 ☐ 大分市の交通問題を考えたシンポジウム。
大分は何が似合うまち？
① 自動車 ② 車いす
③ 自転車 ④ 路面電車
- Q17 ☐ 夏の公開講座、親子で作ったのは？
① ハンバーガー ② 3DCG
③ パソコン ④ 暑中見舞い
- Q16 ☐ 大分七夕まつりで、空に舞った風船の数は？
① 2万個 ② 20万個
③ 3万個 ④ 3千個
- Q15 ☐ 国道197号線を封鎖して、
開かれるお祭は清正公何祭？
① 十三夜 ② 十五夜
③ 生誕 ④ 二十三日
- Q14 ☐ 大分市のPR、皆で踊ったのは
① よさこい ② ソーリン音頭
③ ソーラン ④ 竹田節
- Q13 ☐ 竹田で行われているのは
何ツーリズム？
① 食育 ② 民朴
③ グリーン ④ ロンバケ
- Q12 ☐ 写真を撮って、紹介したのは？
① 姫島 ② 大島
③ 佃島 ④ 保戸島
- Q11 ☐ 4月に別府で開かれた環境が
かかえる問題を提起したのは？
① ペイティ ② アースティ
③ 環境ティ ④ 緑化ティ
- Q10 ☐ 皆で植樹したのはどこ？
① 由布院 ② 天瀬
③ 竹田 ④ 別府
- Q9 ☐ 毎年五月に開かれる竹田市の
イベント名は何子ども祭り？
① 竹田 ② 岡藩
③ 竹宵 ④ 豊後
- Q8 ☐ 写真を撮って、紹介したのは？
① 姫島 ② 大島
③ 佃島 ④ 保戸島
- Q7 ☐ 自己PRの練習をした
発表会は？
① インタースhip ② 体験
③ ポートフォリオ ④ アルバイト
- Q6 ☐ 31台のカメラで
収録したのは？
① 創作劇 ② 車いすマラソン
③ 定演 ④ 芸短祭
- Q5 ☐ 31台のカメラで
収録したのは？
① 創作劇 ② 車いすマラソン
③ 定演 ④ 芸短祭
- Q4 ☐ 日本で一番古い地方映画祭？
① 夕張 ② 東京国際
③ 湯布院 ④ 横浜
- Q3 ☐ 穂田子どもルームで
皆で直したのは？
① パソコン ② おもちゃ
③ 古着 ④ 家電製品
- Q2 ☐ 府内五番街からの動画発信を
ネットで実施しているのは何TV？
① ファイフス ② 芸短
③ ウィークリー ④ 十三夜
- Q1 ☐ 二人一組で実施する心理学の
名物講義は何ウォーク？
① 健康 ② 別大
③ ブラインド ④ 手繋ぎ



- Q11 ☐ 街頭で
募金活動を行ったのは？
① 赤い羽根 ② 緑の羽根
③ あしなが学生 ④ 東日本復興支援
- Q10 ☐ 大分市の交通問題を考えたシンポジウム。
大分は何が似合うまち？
① 自動車 ② 車いす
③ 自転車 ④ 路面電車
- Q9 ☐ 夏の公開講座、親子で作ったのは？
① ハンバーガー ② 3DCG
③ パソコン ④ 暑中見舞い
- Q8 ☐ 大分七夕まつりで、空に舞った風船の数は？
① 2万個 ② 20万個
③ 3万個 ④ 3千個
- Q7 ☐ 国道197号線を封鎖して、
開かれるお祭は清正公何祭？
① 十三夜 ② 十五夜
③ 生誕 ④ 二十三日
- Q6 ☐ 大分市のPR、皆で踊ったのは
① よさこい ② ソーリン音頭
③ ソーラン ④ 竹田節
- Q5 ☐ 竹田で行われているのは
何ツーリズム？
① 食育 ② 民朴
③ グリーン ④ ロンバケ
- Q4 ☐ 写真を撮って、紹介したのは？
① 姫島 ② 大島
③ 佃島 ④ 保戸島
- Q3 ☐ 4月に別府で開かれた環境が
かかえる問題を提起したのは？
① ペイティ ② アースティ
③ 環境ティ ④ 緑化ティ
- Q2 ☐ 皆で植樹したのはどこ？
① 由布院 ② 天瀬
③ 竹田 ④ 別府
- Q1 ☐ 毎年五月に開かれる竹田市の
イベント名は何子ども祭り？
① 竹田 ② 岡藩
③ 竹宵 ④ 豊後

体験を

Check

2012のイベントを
重点的にチェック

1年間に行われた様々なイベント！
あなたはどれだけ参加して、
それぞれの意義を見出しましたか？

物語に
変える



20周年を迎えた情報コミュニケーション学科は、参加事業が目白押しでした。皆さんは、その中のどれくらいを把握していますか？クイズ形式で、計る平成24年度版あなたの情報コミュニケーション！

情報はただ蓄えておくだけでは殆ど価値がありません。「体験を物語にかえる」ナラティブ能力の根本です。個々の情報の関連性を見つけ、そこから普遍的なストーリーを組み立てる。「考える」ことが重要なのです。今回のチェックでは、「知っている」ことの確認しかできないかもしれませんが、一つの言葉はきっとあなたの記憶を呼び起こすはずです。自分が体験したことなら、その時の雰囲気や匂いまでもが蘇ってくるのではないのでしょうか？

その時、あなたの心は動きまわります。それこそ「物語」のはじまり。言葉をついていくことで、あなたの「感動」は、きっと他の人にも伝わってゆくでしょう。正解率80%を目指してトライして下さい！（正解は頁の欄外にあります）

学科を理解してますか？
まずは、基礎から総ざらい。

- Q1 M I P S、MはMedia、IはInformation
SはSociology。ではPって？
① Philosophy ② Physics
③ Popeye ④ Psychology
- Q2 自発性、無償性、利他性、先駆性に基づく
活動を一般的に何という？
① グッドウィル ② ボランティア
③ ボロネーズ ④ パラダイス
- Q3 吉山先生は社会、柴田先生は臨床、関口
先生は教育、では藤田先生は？
① 応用 ② 発達
③ 児童 ④ 実験
- Q4 洲先生が学生時代に取り組んでいた
スポーツは？
① マラソン ② サッカー
③ 水球 ④ バスケットボール
- Q5 吉岡先生の学生時代の専門は？
① ロボット工学 ② 情報処理
③ プログラミング ④ 野菜作り
- Q6 下川先生の前職は？
① 新聞記者 ② 政治家
③ 評論家 ④ カーネル
- Q7 毎年開催されているサービスラーニング
の発表会は？
① 地域活動発表会 ② 今年の地域貢献
③ 地域活動フォーラム ④ 芸短フェス

平成24年度のあなたの情報コミュニケーションをチェックしてみよう



平成24年度は、本学創立50周年「NEXT 50」として、新たな「NEXT 50」の歴史に踏み出した年でした。同時に、国際文化学科・情報コミュニケーション学科からなる人文系学科の20周年でもありました。この歴史を記念して、これまで以上に、学生主体の、そして地域に密着したさまざまな活動を行ってきました。これらの活躍を次の後輩たちが受け継いでくれることを期待しています。

四季折々の景色が広がるキャンパス

芸文短大のキャンパスは、自然に囲まれています。春は桜やチューリップといった色とりどりの花々、夏はすがすがしい新緑、秋は黄金色に輝く銀杏、冬は哀愁漂う木々...。移り行く季節と共に、さまざまな経験をしながら学生生活を過ごしていきます。



学長プロジェクト「映画と篠笛の集い」を開催しました

学長プロジェクトとは、平成21年度より、文化の資産化をテーマに本学 中山欽吾学長が自らプロジェクトする企画で、毎回、各界で活躍する著名な方々を招いて行っているイベントです。

平成24年度は、映画「種まく旅人の監督・塩屋俊さん」と日本の伝統楽器・篠笛の演奏家・狩野泰さんを迎え、映画上映と演奏会、講演を行いました。訪れた多くの学生は、イベント後も塩屋監督、狩野さんと交流を深めていました。



さまざまな公開講座を開催!

芸文短大では、本学学生はもちろん、一般の方々も聴講できる公開講座を数多く開催しています。

映画監督やトップクリエイター、音楽家など著名な方々

による講演・公開レッスンを始め、PC技術が取得できる講座など実にさまざまな公開講座を通して、市民のみなさまとの繋がりを大切にしています。



オープンキャンパス

7月15日と9月16日に、オープンキャンパスを開催しました。当日は、台風の接近で不安定な天候の回もありましたが、全体で約800名の高校生のみならず、保護者の方々、高校の先生方に参加していただきました。本学学生の司会で進行した全体説明会をはじめ、各学科に分かれて特色あるプログラムを実施するなど、それぞれが自分達の学科についての魅力をPRしていました。

美術科

在学生による体験発表、卒業・修了制作展や授業風景のスライド上映などを行い、キャンパスライフを身近に感じることができた内容に、訪れた高校生のみならず、興味深く耳を傾けていました。



国際文化学科

学生たちによる「国際茶館」がオープン。世界各国のお茶や、茶道部が点てたお抹茶などを飲みながら、語学体験や授業のことなど、先生や在学生たちが本学科の魅力について語りました。



音楽科

小ホールにてミニコンサートを開催。学生によるピアノや器楽アンサンブル、オペラ・ハイトなど迫力あるステージに、みなさん目を輝かせて、大きな拍手を送っていました。また施設見学も行いました。



情報コミュニケーション学科

ミニ講義や在学生との対話でキャンパスライフを間近で感じてもらいました。また、画像編集などを行うメディア体験で実際にパソコンに触れたり、性格を探る不思議な心理体験など楽しい項目が満載でした。



芸短フェスタ2012を開催しました

本学では、毎年恒例で10月～12月までの三ヶ月間を芸術文化月間とし、県民のみならず広く芸術文化と本学の魅力を知っていただくため、「芸短フェスタ」を開催しています。平成24年度も、展覧会やコンサート、舞台、講演会など多彩な行事を実施しました。

美術科

専攻科造形専攻制作展

専攻科造形専攻の学生による作品展をアートホールにて開催しました。美術コースは、社会や人、自分自身に対して思う「行方」を作品で表現し、生活造形コースは、陶、杉、竹・ガラス、竹といった素材を使い、作品を造り上げています。またビジュアルデザインコースは、「大分の地産デザイン」をテーマに、パッケージデザインやイベント企画、商品企画の作品を展示しました。

国際文化学科

車いすで世界を走るアスリート人生

「大分国際車いすマラソン大会」のトップアスリート、ダイアン・ロイ選手、ハインリッヒ・クーベル選手、笹原廣喜選手をお招きし、パネルディスカッションを開催しました。



イベント後には、お茶とお菓子を食べながら、選手達と交流を深めました。学生や一般の方々も、直に選手達と話しをし、触れ合って貴重な時間を過ごせたようでした。

音楽科

第48回定期演奏会

音楽科の総力を挙げて取り組むこのイベントは、平成24年度で48回目を迎えました。今回は、合唱：歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」からの合唱曲、ピアノ：ブルッフとプーランクによる2台ピアノのための協奏曲、管弦楽：ローマの松を披露しました。

情報コミュニケーション学科

マルチ写真展「保戸島を撮る～PHOTOアイランドの魅力～」

情報コミュニケーション学科1年の学生たちが津久見市保戸島の魅力を撮りためた写真展「保戸島を撮る～PHOTOアイランドの魅力～」を1週間にわたって開催しました。撮影地である保戸島での写真展に、来館された多くの島民の方々から感動の声をいただきました。



第51回芸短祭～Join us!～



人と人の繋がりを大切にしたい。という思いをテーマに、学生によるファッションショーや演奏会、豪華賞品が当たる抽選会、サークル・ゼミの出店など楽しいイベントで盛り上がりました!

学長も2年に進級、卒業する皆さんに向けて

皆さんにキャリア・アップ・アップの授業でお話しした中にも、二つ重点がありました。その一つが「人間万事塞翁が馬です。このお話には「目の前のことにこだわると、かえって将来困ることがあるよ」という教訓を含んでいるのです。皆さんがどう読み取るかということが大切です。

私が言いたかったのは、いま見通せる世界はまだまだ狭いということ。を自覚して、その狭い視野から見た景色だけで自分の将来

を決めるのは待つ方がよい。何をやっても、自分の軸足さえしっかりしていれば、すべてがもう一つの重点である「右脳の引き出し」に収まるのだと信じて行動すれば自信が生まれる。そのことが就職前の心構えになるということです。さあ、一緒にまっすぐ前を見て自信を持って進んでいきましょう。



学長 中山欽吾

文部科学省から「体験をスキルに変えるナラティブ能力育成」が特に優れた取り組みと評価されました

平成21年度に採択を受け、情報コミュニケーション学科を中心として取り組んでいる事業「体験をスキルに変えるナラティブ能力育成」について、本学の取り組みが特に優れていると認められました。これは、平成21年度全国応募64

9の取り組みのうち採択は96件、そのうち書面調査によって特に優れており、波及効果が見込まれると判断された本件を含む16件についてさらに現地調査が行われ、認められたものです。

Geitan Calendar

ゲイタン・カレンダー
2012-2013

平成24年度も、芸文短大では公開講座をはじめ、演奏会、講演会などさまざまなイベントを開催しました。

※下記はごく一部です。ほかにも多数のイベントを開催、参加しました!

4月

- 入学式
- 第2回 美術作品合同展
- 塩屋俊監督 特別公開講座

5月

- 公開講座「パリ、熱狂の時代」
- 公開講座「情報発信特講／指原 莉乃論～さしこ力とは何か」

6月

- 公開講座「一般県民・高校生の為の理論・作曲を学ぼう」
- 公開講座「全日本吹奏楽コンクール課題曲指揮法講座」
- 地域社会特講「ワト大分実行委員会」講演
- 要約筆記サークル「陽ざしの会」講演

7月

- 第1回オープンキャンパス
- 美術科実技公開模擬試験
- 音楽科夏期講習会

- 地域社会特講「LAF英語教室代表 於保陽子氏」講演

- 大分市民シンポジウム「自転車が似合うまち」

8月

- 公開講座「親子で作る3DCG講座」
- 公開講座「パソコン実践力アップ講座」
- 日韓学生短編映画制作交流
- 日本画作品展「遊星」

9月

- 第2回オープンキャンパス
- 音楽科夏期講習会
- 地域巡回演奏会
- 若さあふれるコンサート
- 愛甲久美 メソソプラノリサイタル

10月

- 公開講座「メディアで理解 今時の若者」
- 第6回 ホームカミングデー
- 公開講座「中国語入門」
- 第48回定期演奏会
- 芸短フェスタ2012スタート!(~12月)

- ideal Fit
- Tea&Co.
- 藤田洋三写真展
- マルチ写真展「保戸島を撮る」
- 佐藤美枝子客員教授声楽公開レッスン
- 専攻科造形専攻 制作展
- 国際文化学科創立20周年記念の集い
- 地域社会特講 北尾洋二先生 講演
- 公開国際理解ワークショップ& パネルトーク
- 第51回芸短祭
- 車いすで世界を走るアスリート人生
- 学長プロジェクト「映画と篠笛の集い」
- GEITAN ONE DAY SCHOOL 2012
- よみがえる極楽都市・別府

11月

- 第3回ピアノコース演奏会
- 竹田⇄芸文短大交流
- 大分スマートフォン映像祭
- 地域ふれあいアート講座

12月

- 小林道夫客員教授声楽特別レッスン

- 公開講座「一般県民・高校生の為の音楽史・理論を学ぼう」
- パーカッショングループミレニウムコンサート
- Opera Piena di Vita「愛の妙薬」
- 管弦打コース演奏会
- 特別公開講座「日韓関係論の通説・俗説を検証する」
- 創作音楽劇「未完成～シューベルトの生涯～」

1月

- facebookミーティングin豊後竹田
- 映画で見る韓国女性史
- 芸文短大地域活動フォーラム

2月

- 声楽コース演奏会
- 卒業・修了制作展
- potter_s 久保木眞人と若手陶芸家たち

3月

- 第51回卒業演奏会
- 第29回修了演奏会
- 卒業・修了式

恩師からの

お別れの言葉

今年度で退職された先生方にお言葉を頂きました。



美術科

教授: 久保木 眞人

個人的事情から、この3月末を持って早期退職させていただくことになりました。まだ20代で未熟だった私がなんとか成長できたのは、先輩教職員の皆さんと、我慢強く実習に付き合ってくれた学生たちのおかげと感謝しています。2月に市美術館研修室で開いた退任記念展「potter_s」において、最近の卒業生たちとともに、作品を展示しました。今後は彼らの成長を、私が応援していこうと思います。



音楽科

准教授: 釈迦郡 誠

本学勤務の34年間は一流音楽家との出会いに恵まれました。ベルリン芸術大学のクラウド・ヘルビヒをはじめ、東京藝術大学の教授や日本芸術院会員のほか、多くのスペシャリスト達が訪れる芸文短大です。この豊かな出会いのキャンパスからプリマドンナに成長したソプラノの木下美穂子を筆頭に、多数の音楽家が飛び立っていきました。これからも芸文短大の輝かしい未来を楽しみに応援します。



国際文化学科

教授: 吉良 國光

本学に赴任してから21年が経ちました。人文系学科の新設という事で、新任の先生ばかり、熱気に満ちていた当時の事が昨日の事のように思い出されます。いま、地球規模で大きな時代の変化、時代のうねりが進んでいます。こんな時こそ、若い皆さんの力が必要とされています。是非、大いなる希望と熱意を持って未来の時代に向かって進んでください。今後は皆さんの姿を遠くから眺めたいと思っています。



国際文化学科

教授: 染矢 正一

時の経つのは早いもので、芸文短大での四半世紀ほどがあっという間に過ぎてしまいました。この間での大きな変化は、人文系の2学科が加わったことです。全学をあげての新入生歓迎遠足が懐かしく思い出されます。英語の授業では、英語と日本語の両方でジョークを言いましたが、気分転換になりましたか。退職後は、農業を中心に、林業や漁業とも触れ合いたいと思っています。興味のある人は遊びに来てください!



国際文化学科

教授: 陳 剛

1年と半年という短い期間でしかたけど、芸文短大での私の教師生活は、まわりの先生に励まされ、学生さんたちに助けられて続けてきたように思います。在職中は公私にわたり、たいへんお世話になり、至らない私が大過なく過ごすことができたのも、そんなみなさんの支えがあったからだと思います。芸文短大での時間は、一生忘れられない思い出になると思います。ありがとう! 芸文短大!

※派遣期間満了により、中国の江漢大学へ帰学されました。